

共同研究

委託研究の成果をもとにトピックを選定し、研究代表者所属大学、国立情報学研究所、LINE株式会社の3者による共同研究を2021年3月までの予定で遂行中です。

(1) 共同研究Ⅰ（2019年度開始）

研究代表者	所属機関・部局・職名	研究題目
黒橋 禎夫	京都大学 大学院情報学研究科・教授	知識に基づくニューラル対話基盤の構築
河原 達也	京都大学 大学院情報学研究科・教授	音声対話システム高度化のための頑健な音環境理解
小林 哲則	早稲田大学 理工学術院・教授	多人数会話技術の高度化に関する研究

(2) 共同研究Ⅱ（2020年度開始）

研究代表者	所属機関・部局・職名	研究題目
山名 早人	早稲田大学 基幹理工学部・教授	耐模倣性を有するパッシブ認証と秘匿データ解析
吉永 直樹	東京大学 生産技術研究所・准教授	話者状態の把握と改善を目的とした音声雑談対話システムの高度化
松下 康之	大阪大学 大学院情報科学研究科・教授	知的な三次元点群処理に関する研究
矢谷 浩司	東京大学 大学院工学系研究科・准教授	ユーザ・AI相互主導型ビジュアルパフォーマンス支援技術

上記に加え、「LINEを活用した社会課題解決手法の研究」と題した実証的研究を、兵庫県、尼崎市、丹波市、京都大学大学院情報学研究科、LINE株式会社と共同で進めました。LINEのチャットを基盤として、京都大学大学院情報学研究科が開発を進めている対話による問題解決技術を実装し、尼崎市、丹波市の市行政に関わる市民からの問い合わせに自動応答するサービスを行うもので、2019年3月の研究終了後も各自治体での利用を進め、データを継続的に収集しています。